RI District. 2660　Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2018-19

2018-19 President of Rotary International　Barry Rassin

国際ロータリー第 2660 地区 2018-19 年度ガバナー　山本　博史

会報　No.2388
2018 年 9 月 13 日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ

2018-19 年度　　会長：片山　秀樹　　幹事：林　たかみ　　広報・会報委員長：黄堂　泰昌

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル　Tel：072-724-2781　fax：072-724-1786
e-mail：mino-orc@abeam.ocn.ne.jp　HP：http://mino-orc.net/　**例会日**：毎週木曜日　18：30～

◆今週の例会プログラム◆ 2018 年 9 月 13 日（木）第 2389 回例会 メキシコ友の会の方々をお迎えして 担当：国際奉仕委員長：西宮富夫会員	**◆次週の例会◆** 2018 年 9 月 20 日（木）第 2391 回例会 交通安全卓話 講師：箕面警察交通課課長　三谷剛史様 担当：社会奉仕委員長　　河野優作会員
◇お客様◇ 国際ロータリー第 2660 地区 ガバナー　　山本博史様（大阪南 RC） 地区副代表幹事　山本和良様（大阪南 RC） 地区幹事　　木村知恵様（大阪北梅田 RC）	**◆出席報告 2018 年 8 月 30 日（第 2387 回例会）◆** 会員数：30 名　出席者：20 名　**出席率　83.33%** 前々前回　　2018 年 7 月 19 日　　85.19% **◇ロータリーソング◇** 奉仕の理想

◆会長の時間　　会長　片山　秀樹

皆様こんばんは。8 月 17 日の「あかつき園納涼祭」では多くの参加をいただきありがとうございました。一方、先週の納涼例会がまたまた台風の影響で中止せざるを得なくなりましたが次週に再び計画させていただいていますので家族、ご友人の参加をお待ちいたします。

本日は山本博史 2660 地区ガバナーをお迎えしての例会です。山本ガバナーのお仕事は「えびすめ」で有名な株式会社小倉屋山本で創業 150 年の老舗です。皆さんご存知の通り当クラブは今年 50 周年を迎える節目の年であります。150 年、50 年とくれば 100 年を探すこととなります。在りました、私が社長をしている片山化学工業株式会社が本年 100 周年にあたります。これも何かの縁を感ずるしだいです。

ところで「企業 30 年説」を聞かれたことがあるでしょうか。いくら成功している企業であっても継続することの難しさを表しています。1 人の経営者が見れるのは 50 年が限界でしょう。また、1 つのビジネスモデルが通用するのは 30 年がいいところで最近はもっと短くなってきていると感じています。自社の歴史を振返ってみますと 30 年ごとに大きな変化が起きていることが理解でき、変化を継続的に起こせればこそ企業が存続できると確信いたしました。

ロータリー歴の浅い私ですが 100 年以上の歴史を持つロータリークラブにおいても大きな変化をしているように感じています。企業とは異なりますがロータリークラブにも変化は必要です。当クラブにおいても本年度方針の一つ「歴史を理解し、変化のスタートの年とする」を皆様とともに実践して行きたいと思っております。

◆幹事報告◆　　幹事　林　たかみ

・地区大会の登録申し込み用紙
　9 月末までに事務局までご提出ください。
・今月の例会スケジュールについて

◆SAA 報告

ニコニコ箱

芝野弘三郎会員：山本ガバナー、山本副代表幹事ようこそ！よろしくお願いします。

庄司修二会員：ガバナーよろしくお願いします。

浦　　収会員：山本ガバナー、山本副代表幹事、ようこそ箕面 RC へ！

三上智子会員、河野優作会員、木村知也会員、水島教絵会員、梶山博照会員、山本貴雄会員

米山奨学会

木村貞基会員：山本ガバナー、山本副代表幹事、ようこそお越しくださいました。

川端崇且会員：山本ガバナーようこそ。

上島一彦会員：山本博歴史ガバナー様、山本和良地区副代表幹事様、ありがとうございます。

芝野弘三郎会員、木村知也会員、水島教絵会員、梶山博照会員、山本貴雄会員、庄司修二会員、浦　収会員、

ロータリー財団

西宮富夫会員：ガバナー公式訪問御苦労様です。

芝野弘三郎会員、河野優作会員、水島教絵会員、梶山博照会員、山本貴雄会員、庄司修二会員、浦　収会員、木村貞基会員、上島一彦会員

◆ガバナー公式訪問◆

国際ロータリー第 2660 地区　　ガバナー　山本　博史

１　はじめに

ロータリーの主役は各クラブであり、また一人一人のロータリアンです。このことに異論はないと思います。しかし、ロータリー活動が全世界的なものである以上、各地区の特性を活かしつつも、皆がロータリーの目的に向かって足並みをそろえる必要があります。国際ロータリー（以下「RI」と略称）はロータリー全体を管理するための組織であり、その管理のために各地区に派遣されているのがガバナーです。この度、貴重な機会をいただきましたので、RI の方針、今 RI で議論されていること、そして当地区の方針についてお話させていただきます。

２　本年度の RI のテーマと目標

本年度バリー・ラシン会長（以下「ラシン会長」と略称）のテーマは「BE THE INSPIRATION～インスピレーションになろう～」です。インスピレーションという言葉は、ひらめき、思いつきといった意味だけでなく、周りの人々に生気を与える、息吹きを吹き込むという意味があります。

ラシン会長は本年 6 月のトロント国際大会のスピーチで「私達は手を取り合います。なぜなら協力すれば一人よりもずっと強くなれると知っているからです。私達は行動します。なぜならロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。」と語りました。トロント国際大会でよく見かけた三つの標語「TRANSFORM…変えていこう」「PEAPLE　OF　ACTION…世界を変える行動人」「CONNECT…ちからをつなごう」は、このラシン会長のスピーチのエッセンスです。

この「インスピレーションになろう」というテーマはラシン会長の独創ではありません。ロータリーの根幹ともいうべき「ロータリーの目的」（RI 定款第 4 条、標準ロータリークラブ定款第 5 条参照）を踏まえ、RI が 2010 年に策定したロータリー戦略計画の「ロータリーの使命」や「中核的価値観（コア・バリュー）」、そして RI 理事会が 2017 年 7 月に策定した「ロータリーのビジョン：私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」等、これまで積み重ねてきたものの実践を働きかけるものです。

ラシン会長は、本年度のテーマを実現するため、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という三つの優先項目を具体化する 11 の目標を打ち出しました。また、目標として掲げられていませんが、ラシン会長はトロント国際大会の閉会式のスピーチでローターアクトを重要視し、その数の倍増を求めました。もっとも、このローターアクトについては、海外と日本とでは、RAC のおかれる状況が異なることもあり、当地区の実情にあった RAC のあり方を検討し、提案するに留めるつもりです。

RI が今後目指す方向については、①ポリオ撲滅の早期実現、②会員増強と会員の高齢化ストップ、③ロータリー財団の拡大、④公共イメージと認知度の向上、⑤ポリオ撲滅後のテーマの模索と、より強力なパートナーとの協力関係の構築の５項目がキーワードとなります。この点については、今後もできるかぎり皆様と情報を共有化していきたいと思います。

３　2660 地区のビジョンと本年度の方針

最近のＲＩの方向性をふまえ、我々2660 地区の歴史、価値観、組織風土を大切にしながら各クラブが、そして地区が発展していくよう、片山ガバナー年度、本年 4 月に以下の地区ビジョンを策定し、また 2017-18 年度から 2021-22 年度に適用する地区中期５カ年目標を列挙しています。紙幅の関係上、地区中期５カ年計画は割愛しますが、重要な目標ですので、地区ウェブサイト等で是非ご確認ください。

■私たち第 2660 地区は RI テーマを理解し、地域の特性にあった活動をすることにより具現化します。

■ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹とし、世界及び地域社会で良い変化
を生み出します。

■それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。

ラシン会長が掲げるテーマや目標、そして前記 2660 地区のビジョンを踏まえ、当地区の本年度の方針は以下の 10 項目です。

①ポリオ撲滅への協力をお願いします。
②ロータリー賞の受賞を目指してください。
③ロータリー財団と米山記念奨学会への協力をお願いします。
④会員基盤を増強してください。
⑤ロータリーのＩＴ化への協力と公共イメージ向上へのチャレンジをお願いします。
⑥戦略計画を活用し、クラブの中長期ビジョンを策定してください。
⑦新ＩM内の親睦と情報交換を推進してください。
⑧ハンブルク国際大会、地区大会、地区事業への積極的な参加をお願いします。
⑨ロータリーデーにご参加ください
⑩地区のスリム化、効率化、運営の合理化、財務ルールを徹底します。

いずれも行動、実践をともなうものであり、皆様の積極的な活動を期待します。

最後に、当地区のクラブ運営のあり方ですが、2016 年の規定審議会で運用ルールが大幅に緩和されたことにより、ネットで例会を行うクラブの名称から「E」という文字が消え、他の一般のクラブと同じ位置づけとなりました。世界では、ロータリアンの自宅やコーヒーショップを例会場とする、ある企業や家族の一員であれば例会に参加できるというクラブも現れています。例会に出席するために長時間の移動が必要、あるいは人の活動範囲が広がり、同時刻に同じ場所に集まることが難しいという人たちもいます。他方、ジェネレーションギャップとでも言うべき現象も起こっています。聞くところによると、ある新しいクラブの若い会員が、東京 RC の帝国ホテルでの例会に短パンでメイクアップに来たということです。この珍事に、大半のロータリアンは常識と TPO の問題だと考えると思いますが、中には、それもダイバーシティだと言う方もいます。日本のロータリーの今後の発展を考えると、他人事として済ませてしまうのではなく、自分達自身の問題として真剣に考え、我々の意見をはっきりと述べていく必要があるのではないでしょうか。

末尾になりましたが、会員皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りし、ガバナースピーチとさせて頂きます。ご静聴ありがとうございました。

地区副代表幹事　　山本和良様

日本のロータリー創立 100 年を記念する鐘プレートには第 2660 地区 82 クラブの名前が刻まれています。